

車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【令和3年2月号①】

感染症予防対策の徹底を！

《重点目標》『自立した品格を目指し 学び合い 認め高め合い 最後までやり遂げよう』

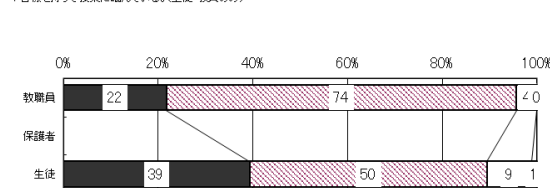
1 1月にご協力をいただきました学校評価アンケートでは、今年度も本校教育活動について概ね肯定的な評価をいただきました。その概要や今後の取組についてお伝えいたします。

<確かな学力の向上>

1 目標を持って授業に臨んでいる。(生徒・教員のみ)

昨年度と比較し、教職員、生徒ともに0.1ポイント高い評価値でした。A評価について焦点を絞ると、生徒の評価に比べ教師の評価はかなり低い結果でした。この評価結果は、生徒には「目標を持って授業に臨む」にふさわしい態度を今以上にとってほしいという教師の期待の表れであると考えています。

1 目標を持って授業に臨んでいる。(生徒・教員のみ)



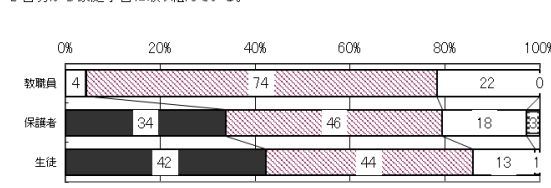
《今後の取り組み》

マクロ的な視点(このことを学ぶことによって、「将来につながる能力が身につくんだ」とミクロ的な視点(「このことが次の学習につながっていくんだ」)から学習の意義をとらえさせ、「だから今、この学習課題の解決に取り組むんだ。」と納得して取り組む姿勢を引き出していきたいと思います。

2 自分から家庭学習に取り組んでいる。

昨年度と比較し、保護者は0.1ポイント増加、教職員は0.2ポイント、生徒は0.1ポイント減少しました。減少した理由として学級担任は毎日、自主学習ノートの取り組み状況について丁寧にチェック・指導し、励ましたり疑問に答えたりしていますが、実際の家庭学習では十分な取り組みができているとはとらえていないことが分かります。A評価に焦点を当てると、教職員と生徒との間には、約10倍もの差があり、大きな認識のずれとなって表れています。これは教師は、生徒は家庭で机には向かうものの、時間を有効に活用し、速やかに本日の課題に計画的に、集中して取り組んでいると言える状態までには至っていないととらえているからだと思います。ほとんどの生徒は自主学習ノートを毎日提出していますが、取り組みには大きな差が見られます。生徒の実生活での時間の使い方も課題の一つとなっているように思います。

2 自分から家庭学習に取り組んでいる。



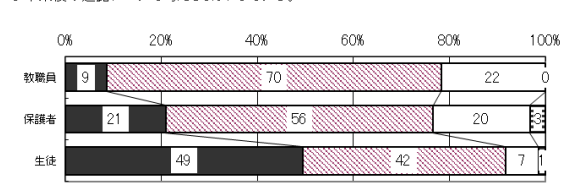
《今後の取り組み》

今後はその日の帰りの学活で帰宅後にどのように学習を進めるのかを自分で考えて計画を立てる時間を設け、帰宅後にすべきことを自分で考え、予めイメージした計画通りに、家庭学習に打ち込むことができる「計画実行力」を高めていきたいと思います。

3 卒業後の進路について考えるようにしている。

生徒の評価が一番高い結果となりました。生徒の学年ごとの評価の平均値を見ると1年(3.3)→2年(3.3)→3年(3.6)と3年生の評価が高い結果となっています。これは、卒業が迫ってきて進路が明確となったことが理由として考えられます。しかし、教職員・保護者の評価は、A評価に焦点を当てると生徒の評価の1/2にとどまりました。このことから、生徒は進路については考えているものの、それが学習の動機付けとなるまでにはいたっていないととらえることができます。

3 卒業後の進路について考えるようにしている。



《今後の取り組み》

将来について考えようとしている生徒の姿を認めながら、学級活動やキャリア教育に関わる体験活動などを機会ととらえ、現在の学びが自分の将来に密接につながる重要なキーポイントであることを「自分事」として考えさせ、学習や部活動、生徒会活動などの日頃の教育活動に目的意識や目標を持って取り組んでいく態度を身に付けさせていきたいと思います。